

「合理的配慮」を知っていますか？

しょう ひと ひと とも く しゃかい
障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会を
つく かんが
作っていくために、できることを考えてみませんか

- 合理的配慮とは、役所や事業者に対して、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応することを指します。
- 令和 6 年 4 月の改正障害者差別解消法の施行により、事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。

合理的配慮の例

- お店の中や、講演会等のイベントなどで、障がいのある人の障がい特性に応じた座席を用意する。
- 意思を伝えやすくするために、絵や写真のカード、手話、タブレット端末などを使って情報を補足する。
- 段差がある場合に、スロープなどを使って補助をする。
- 一緒に働く人の障がい特性に応じて、相談しやすい環境を作ったり、指示の出し方に工夫をする。など



み ぢか ごうりてきはいりょ し ない せいかつ かた
“身近な合理的配慮”をテーマに、市内で生活する方や、
じぎょうしょ かたがた
事業所の方々にインタビューをしました！

しょう 障がいがあってもなく はたら ても、みんなが働きや しよく ば め ざ すい職場を目指して

ぶ しゅうせいやくかぶしきがいしゃ 武州製薬株式会社 あ い づ こ う じ ょ う はたら か た が た 会津工場で働く方々



じゅう ぎょう いん ● 従業員

A.J さん (写真前列左) しゃしんぜんれつひだり

E.A さん (写真前列右) しゃしんぜんれつみぎ

あ い づ こ う じ ょ う ● 会津工場

こうしやう ちやう ぎやう じやう
工場長 星 陽子 さん (写真後列右) しゃしんこうれつみぎ

じんじふ じんじふ
人事部 古賀 真幸 さん (写真後列左) しゃしんこうれつひだり

わたし ことし がつ し えん がつこう そつぎやう
私たちは今年の3月に支援学校を卒業して、4
がつ あ い づ こ う じ ょ う はたら
月から会津工場で働いています。

し ごと おも こういしつ せいそう くすり つく とき き
仕事は主に、更衣室の清掃や、薬を作る時に着
さぎやう ぎ し わ たんとう
る作業着の仕分けなどを担当しています。

はじ しゅうしよく ふ あん こま とき
初めての就職で不安もありましたが、困った時
そうだん の
に相談に乗ってくれるメンターがいるので、安心
して仕事ができます。メンターには、仕事の
ないよう かいしゃ す うえ
内容だけでなく、会社で過ごす上でのルールのこと
や、体調が悪い時の対応など、身近な困りごと
も気軽に相談できるので助かっています。

かいしゃ なつまつ
また、会社では夏祭りなどのイベントもやって
し ごと い が い しゃいんどうし こうりゅう き かい
いて、仕事以外でも社員同士で交流する機会があっ
たの
て楽しいです。

かいしゃ いちいん いろいろ し ごと おほ
これからも会社の一員として、色々な仕事を覚
え がん ば
えて頑張っていきたいです。



へいしゃ しょう う む しんにゅう
弊社では、障がいの有無にかかわらず、新入
しゃいん ひとり
社員一人ひとりに、メンターと呼ばれる指導・
そうだんやく せんぱいしゃいん こま
相談役となる先輩社員をつけており、困りごとを
き がる そうだん たいせい つく
気軽に相談しやすい体制を作っています。

メンターと新入社員は、言葉で声をかけ合うだ
けではなく、まいにちぎやうむ にっし こうかん ぎやうむ しんちよく
毎日業務日誌を交換して業務の進捗
かくにん しんにゅうしゃいん きにゅう こま
確認をしながら、新入社員が記入した困りごとや
はんせいてん たい か
反省点などに対し、メンターがアドバイスを書い
ています。

にっし ことば そうだん ちい こま
日誌には言葉では相談しにくい小さな困りごと
か はんせいてん
も書きやすいですし、また、反省点やアドバイスを
も じ のこ たが あと ふ かけ
文字に残すことで、お互いに後から振り返れる
よ てん かんが
ことも良い点だと考えています。

また、弊社では、障がいのある人が働きやすい
ようにジョブコーチ (※) の人材育成にも取り組
きぎやうない たいせい じゅうじつ め ざ
んでおり、企業内でのサポート体制の充実も目指
しています。

じゅうぎやういん いけん と い しょう
これからも従業員の意見を取り入れながら、障
ひと ひと とも はたら しょうば
がいのある人もない人も共に働きやすい職場を
つく おも
作っていただけたらいいなと思っています。

(※) ジョブコーチ: 障がいのある方が職場に適応できるよう、必要な助言・援助を行う人のこと。



お互いのことを 知って、理解し 合える街に

丸山 泰智 さん

私は、筋力が低下する難病のため、電動車いすを使用して日常生活を送っております。

日中は市内の IT 企業に勤めていて、在宅でのリモートワークがメインですが、週に 1 ～ 2 回は出社して仕事をしています。会社の中では、高い位置にあるボタンを押す、引き戸を開けるといった動作が一人では難しいので、同僚など周りの方のサポートが必要不可欠な状態です。そのような状況でも、いつも快くサポートしていただき、分け隔てなく接してくださるので、本当に感謝しかありません。

また、休日は友達や家族と出かけることが好きで、音楽フェスに行くことも好きです。フェス会場では、観客は基本的に立った状態でライブを鑑賞するのですが、車いすでは目線が低く、ステージが見えにくいんです。そこで、車いすユーザーに少し高い位置で鑑賞できるスペースが用意されていることがあり、これも合理的配慮の取組の一例だと思います。最近のフェス会場では、車いす用スペースも確保されていることが当たり前になってきていて、合理的配慮の考え方が広がってきているんだなあと感じています。

これからも、合理的配慮の考え方やバリアフリー化が進んでいき、日常生活の中で少しでも不自由の障壁が取り除かれていけば嬉しいです。

まだまだ助けていただく場面も多いですが、すべてをやらせようとは思ってなくて、自分でもできることもあります。障がいがあってもなくても、一人ひとりが自分にできること・助けが必要なことは違うと思うので、コミュニケーションをとってお互いのことを理解し合い、補い合えるような気持ちが当たり前になっていったら、嬉しいです。

野外フェス
楽しかった
です!!



できることから一つずつ、 一緒に考えることを大切に

ベーカリー & カフェ コパン

かんりしや 管理者 **高畑 祐介 さん** (写真右から2番目)
サービス かんりしや 管理者 **星 佳代子 さん** (写真左)



私たちは、障がいのある人たちと共に、カフェとパン工房を運営しています。

カフェの空間には、様々な方が訪れます。例えば、車いすを利用している方であれば、段差や狭い通路の移動が難しいので、バリアフリー化と合わせて、座席の間隔を広くする、ご要望に応じて座席のレイアウトを変更するなどの配慮をしています。この他にも配慮という視点では、小さなお子様がいて、商品を載せるトレイが持ちにくそうであればスタッフが声をかけて代わりにお持ちするといった対応をすることもあります。障がいのある方だけではなく、困っている方がいれば、どのようにしたらいいか一緒に考え、できる対応を一つずつ積み重ねてきたことで、様々な方にご利用

いただけるカフェができていったのではないかと
おもっています。

合理的配慮と聞くと難しいことをイメージする人も多いと思われますが、大切なことは、事業者と利用者の双方が、お互いに無理のない範囲でできることを一緒に考えることだと思います。その場でできることが限られていたとしても、NOというのではなく「ここまでならできますよ」というポイントを考えることで、思いやりのある社会に少しずつ近づいていくのではないのでしょうか。これからも、できるだけ多くの人にとって居心地の良い空間を、一緒に働く仲間たちと共に考え続けていきたいと思っています。



あいづわかまつしちいきじりつしえんきょうぎかい

会津若松市地域自立支援協議会について

障がいのある人もない人も、お互いに人格と個性を尊重し合い、人としての尊厳が守られ、共に生きることでできる地域社会の実現を目指し、

- 「障がい理解の仕組みづくり」
- 「地域で支えあう仕組みづくり」
- 「活動支援の仕組みづくり」
- 「就労促進に向けた仕組みづくり」
- 「成長過程に応じた一貫した支援の仕組みづくり」
- 「横断的な支援の仕組みづくり」

の6つの仕組みづくりなどに取り組んでいます。

ちいきじりつしえんきょうぎかい
地域自立支援協議会

しやうさい
の詳細は

ホームページを
ご覧ください



へんしゅう 発行 会津若松市地域自立支援協議会

〒965-8601

会津若松市東栄町3番46号

お問い合わせ先 会津若松市役所 障がい者支援課

電話：0242-23-4244

Fax：0242-39-1430

UD
FONT
by MORISAWA